

Fukushima Bank 2020

ディスクロージャー誌〔情報編〕

2019年4月1日～2020年3月31日

FUKUSHIMA BANK DISCLOSURE



相馬市 カゲスカ海岸



CONTENTS

ごあいさつ	・・・1
ふくぎんV字回復プラン	・・・2
法人・事業主のお客さまへの取組み	・・・4
個人のお客さまへの取組み	・・・5
SBIホールディングスとの資本業務提携	・・・6
社会貢献への取組み	・・・8

会社概要

本社所在地	福島県福島市万世町2番5号
電話番号	024-525-2525(代表)
設立年月日	1922(大正11)年11月27日
資本金	186億円
従業員数	675名(うち正社員511名)
店舗数	57店舗(5出張所、2ソリューションプラザ、 1ローンプラザ、1ネット支店含む)
預金残高	7,295億円
預かり資産	833億円
貸出金残高	5,742億円(私募債含む)
自己資本比率	7.68%(単体)
連結子会社	(株)ふくぎんリース (株)福島カードサービス (株)東北バンキングシステムズ 福活ファンド投資事業有限責任組合

役員

取締役社長	加藤 容啓
常務取締役	佐藤 明則
取締役	佐藤 俊彦
取締役	鈴木 岳伯
社外取締役	瀬瀬 晃
社外取締役	二瓶 由美子
社外取締役	五味 廣文
常務執行役員	宮下 恵洋
執行役員	横山 利幸
執行役員	渡辺 敦雄
執行役員	草野 真之
常勤監査役	稲村 修
常勤監査役	箭内 貴志
社外監査役	新開 文雄
社外監査役	鈴木 和郎

2020年6月30日現在

ごあいさつ

株式会社福島銀行
取締役社長

加藤 容啓



皆さまには平素より福島銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

2020年3月期決算の概要や中期経営計画に則った取組みをディスクロージャー誌（情報編）に取りまとめたので、ご一読くだされば幸いです。

昨年の令和元年台風第19号等につき自然災害が相次いでいるなか、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆さまにおかれましては、心よりお見舞い申し上げます。当行では、融資相談窓口を設置し、行政や政府系金融機関と連携しながら、資金繰り支援などに積極的に取り組み、お客さまに寄り添いながら、地域社会の下支えに積極的に努めてまいります。

また地域金融機関を取り巻く環境につきましては、少子高齢化や人口減少に加え、金融緩和政策による金利低下の長期化、デジタル技術革新を背景に異業種からの銀行参入など、金融機関を取り巻く環境は一層厳しい状況が続くものと予想されます。

こうしたなか当行は、お客さまの多種多様なニーズにお応えするため、銀行業のみならず様々なノウハウを持つ企業との連携強化が必要であると考え、2019年11月にSBIホールディングス株式会社と資本業務提携契約を締結いたしました。SBIグループは、証券・銀行・保険を中心に、インターネットをメインチャネルとした革新的で利便性の高い多くの金融商品・サービスを提供しており、さらに地域のお客さまの資産形成や、地元企業の生産性の向上を図る取り組みを支援するなど、地域経済の活性化を実現させ、地方創生に貢献することを目指しております。当行は、安定した収益を確保しつつ新たなビジネスモデルを構築するため、異業種との提携を通じてフィンテックやIT技術など、デジタルイノベーションに強い銀行を目指してまいります。

2020年度を最終年度とする中期経営計画「新生ふくぎん3Cプロジェクト」の着実な進展により、本業収益は大幅に改善しているなか、抜本的な収益構造の転換に向け、コロナ禍により今後発生する可能性のあるコストとして、有価証券運用の大幅な見直しによる含み損の一掃や、信用コストの増加に備えた予防的引当金を計上するなど前倒しで対応いたします。これにより将来に向けて安定的な収益を確保し、2021年度以降は業績のV字回復と復配を目指してまいります。

当行は、引き続きお客さまの支援、地域経済の活性化・地域創生に貢献してまいりますので、なお一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画「新生ふくぎん3Cプロジェクト」数値目標の着実な進展

○ 当期純利益

2018年度目標1億円→実績3.3億円
2019年度目標3億円→実績3.5億円
着実に目標達成。

○ 事業性融資先数

最終年度(2020年度)目標5,000件
→2019年度実績5,117件と早期達成。

○ 本業収益

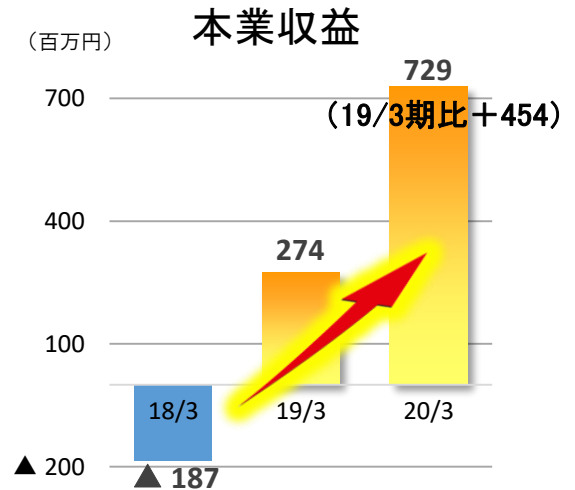
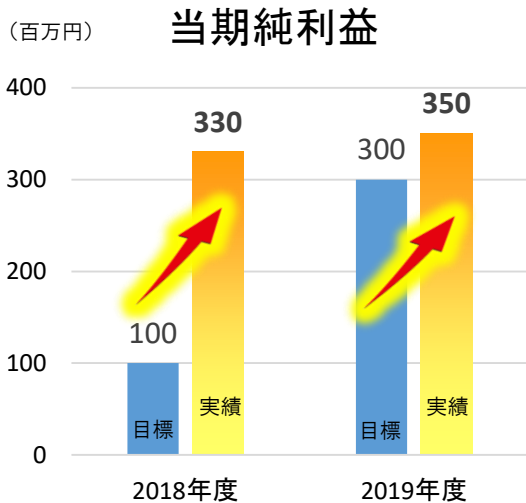
(投信解約益を除くコア業務純益)

2018年3月期▲187百万円

2019年3月期 274百万円

2020年3月期 729百万円

※2019年3月期に4年振りに黒字転換し
2年連続で本業収益の黒字化を達成。

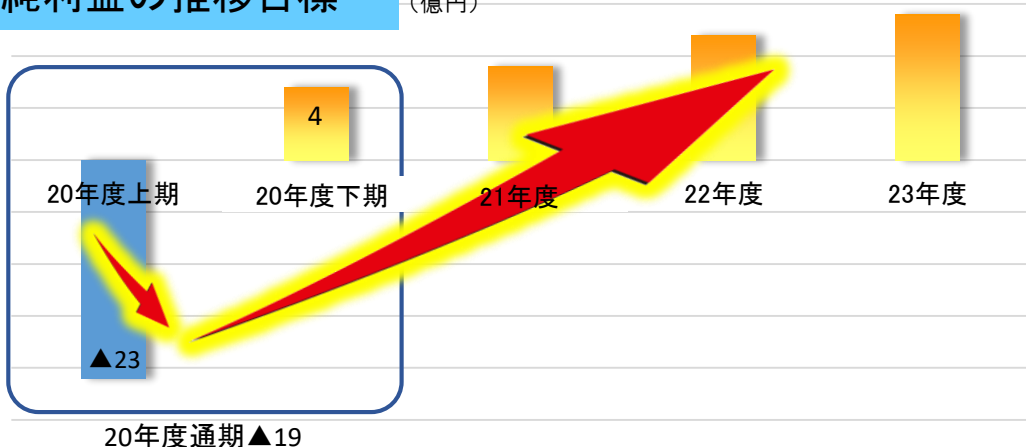


ふくぎんV字回復プランの概要

- 「新生ふくぎん3Cプロジェクト」の着実な進展により、本業収益が大幅に改善。
- 抜本的な収益構造の転換に向け、コロナ禍により今後発生する可能性のあるコストを前倒しで処理。
 - ① 20年度上半期で有価証券含み損を一掃、SBIグループと協業し有価証券ポートフォリオを再構築
 - ② 信用コストの増加に備え、追加で損失計上
- これにより将来に向けて安定的な収益を確保し、業績のV字回復と復配を目指す。
- お客さまの支援、地域経済の活性化・地域創生に貢献する。

当期純利益の推移目標

(億円)



具体的内容および2021年3月期の見通し

新型コロナウイルスの感染は世界規模で拡大しており、先行を見通せない状況にあります。

コロナ禍が地域経済に及ぼす影響は、不透明であり、深刻化、長期化する懸念があります。このような状況に備えるため、今後発生する可能性のあるコストについて、次の事項について前倒しで処理をいたします。

(1) 有価証券運用の大幅な見直し

- 有価証券のポートフォリオについて、債券中心の運用に切り換え、SBIグループの運用ノウハウの活用により安定収益を目指します。
- 純投資株式や投資信託を売却し、評価損を一掃します。
- 損失額は通期で16億円程度を計上する見込みです。

(2) 信用コストに備えて予防的引当金を計上

- コロナ禍が当行の貸出債権に与える影響は不確実性を増しております。今後、当初の想定を超えて発生する可能性のある信用コストに備えるため、数億円程度の損失計上を見込みます。

(3) (1)、(2)の新たなコストの発生により2021年3月期の当期純利益は19億円程度の赤字を見込んでおります。なお、貸出金利息、手数料収入は対前年度比増加、また営業経費については同減少を予想しており、本業収益は7億円を超える黒字を見込んでおります。

(4) 配当について

2021年3月期の配当は、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただく予定です。

(5) 健全性について

自己資本比率は単体で7.4%程度、連結で7.8%程度を見込んでおり、バーゼル3国内基準(4%以上)を上回る見通しです。

2021年度以降の収益見通しおよびSBIグループからの支援

2021年度以降の収益見通し

- 有価証券運用につきましては、債券中心の運用にすることにより、損失の発生の可能性は低下。また、引当金を計上することにより、信用コストの備えも充実、これらにより赤字要因の懸念は著しく低減されます。
- 2021年度以降につきましては、5億円を超える当期純利益が見込めV字回復は可能であると考えており復配を目指してまいります。
- コロナ禍で苦しむ地元のお客さまの支援に一層注力し、積極的な貸出金の供給を通じて地域経済の活性化・地域創生に貢献してまいります。

SBIグループからの支援

- SBIグループとは2019年11月に資本業務提携契約を締結し、これまで「福島銀行SBIマネープラザ郡山」「福島銀行バンキングアプリ」「SBIレミットとの海外送金サービス」「住信SBIネット銀行の住宅ローン取扱」など各種協業を進めてまいりました。
- 今回のV字回復プランについては全面的なご理解を得ており、次の点について支援頂くこととしております。
 - ・ 業務提携、協業の強化
 - ・ 有価証券運用に関する人材育成を含めたバックアップ
 - ・ その他全面的な支援

法人・事業主のお客さまへの取組み

子育て支援～寄付型ローン～「ふくぎん子ども絆ローン」

SDGsの取組みの一環として、2018年11月に寄付の対象を子育て支援に特化した「ふくぎん子ども絆ローン」を取扱開始し、2019年5月にSeason2が開始され、2020年1月には100億円に到達することができました。

引き続き、2020年1月よりSeason3が取扱中であり、子育て支援を継続してまいります。



2020年5月、Season2の100億円到達に伴い県内の子育て支援施設にマスク1万枚を寄贈

「SDGs危機管理サポート私募債」

2019年11月、自治体や消防等団体の防災・減災の活動に役立ててもらう「SDGs防災・減災のための寄付型私募債」を取扱開始いたしました。

2020年4月には、新型コロナウイルス感染症拡大等の危機管理を対象とした「SDGs危機管理サポート私募債」を取扱開始し、引き続きお客さまと共に地域貢献をしてまいります。



2020年2月、防災・減災機能の強化のため福島県に寄贈

創業支援に向けた取組み

当行は、認定連携創業支援事業者として、福島市、郡山市を始めとする県内15市町から認定を受け、創業支援セミナー等を開催しております。

2019年度は延べ336名がセミナーに参加され、17名の方が起業の夢を実現されております。



新型コロナウイルスに関する対策

新型コロナウイルスに関する融資相談窓口を設置し、事業者さまからの資金繰り支援などのご相談に迅速に対応し、また行政や政府系金融機関とも連携するなど、お客さまに寄り添いながら、地域社会の下支えに積極的に努めてまいります。

新型コロナウイルスに関する融資相談窓口の設置

当行では、「新型コロナウイルス感染症」により事業に影響を受けている事業者さまを対象に、融資等の相談を承る窓口を設置し、事業者さまからのご相談に迅速に対応してまいります。
新規の融資、返済条件の見直しなど、お気軽にご相談ください。



平日相談窓口

全営業店

午前9時～午後3時
※一部店舗を除く

ソリューションプラザ
SP福島・郡山
ローンプラザ いわき

午前10時～午後6時

法人営業部 午前8時40分～午後7時
☎ 0120-294-091

休日相談窓口

土・日曜日

ソリューションプラザ
SP福島・郡山

土曜日

ローンプラザ いわき

午前10時～午後5時

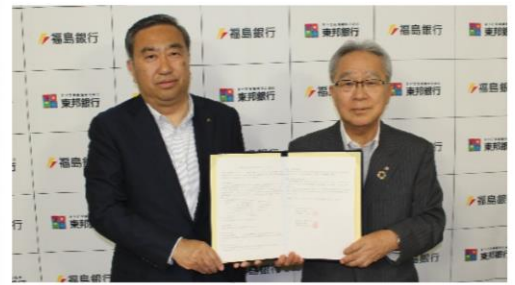
各店舗の窓口営業時間・住所・電話番号・その他の情報は福島銀行のホームページをご覧ください。

個人のお客さまへの取組み

東邦銀行とのATM相互開放

2019年9月、キャッシュレス化などが進展する中、お客さまの利便性をさらに向上する観点から、東邦銀行とATMの相互開放を実施いたしました。

両行が運営するATMネットワークにより、平日日中の出金手数料の無料化や、それ以外の時間帯も一律110円引下げいたしました。



お客さま向け各種セミナーの開催

県内の各地区にて、「簡単に・わかりやすく・楽しく資産運用について」や、「人生を笑ってハッピーになる健康のお話」、「定年前後にゆとりあるセカンドライフを過ごす生活プラン」、「賢い老い支度のためのエンディングノートの書き方教室」等、様々なセミナーを開催し、わかりやすく・お役に立つ情報を皆さまへお届けいたしました。



活き活き健康教室

障がい者スポーツ支援への取組み

2019年9月、障がい者の皆さまのスポーツ活動を応援したいとの考えに基づき、寄付型定期預金「エール」を取扱開始いたしました。

2020年2月には、取扱対象者を個人のお客さまから、法人のお客さまにも拡大し、取扱期間も延長いたしました。また福島市が生んだ名作曲家である古関裕而のCDを抽選で贈呈するなど、地元福島市の活性化にもつなげてまいります。



預金商品の取扱拡大や各種キャンペーン、イベントの実施

イベント個人定期預金(相続・退職金・年金)の対象者範囲を本人のほか、配偶者、2親等以内の親族まで拡大いたしました。

抽選権付定期預金では、「ふくしま逸品モール」(地場産品を取扱う県内企業の販路拡大を目的に当行HPで紹介)から、選りすぐりの逸品をプレゼント。

給与振込キャンペーンや、年金受取のお客さま向けイベント等も実施いたしました。

Advertisement for 'きずな 定期預金 ~ファミリープラン~' (Kinuna Regular Savings ~Family Plan~). The ad features a family illustration and text: '相続預金を受け取られたみなさまへ' (To those who have received inheritance savings), 'きずな 定期預金 ~ファミリープラン~', '相続預金受取後、期間内であれば何回でも預入可能' (After receiving inheritance savings, you can deposit multiple times within the period), '年利 0.05%' (Annual interest rate 0.05%), 'ご本人・ご家族 2親等以内の親族まで 100万円以上 1,000万円以内' (For you and family members up to 2nd degree relatives, 100,000 yen to 1,000,000 yen), and '0120-76-2940'.

Advertisement for '福が来た来た! キャンペーン' (Fukunaka came, came! Campaign). The ad features a colorful illustration of a person holding a large '福' (Fukunaka) character and text: '福が来た来た! キャンペーン', '10月5日(土) 10月30日(土) 10月10日(日) 10月17日(日) 10月24日(日) 10月31日(日)', '福の逸品 投資信託(一括購入)', '300名様へ プレゼント!!', 'きずな 給与振込キャンペーン', '0120-76-2940', and '福島銀行'.

SBIホールディングスとの資本業務提携

当行は、2019年11月にSBIホールディングス株式会社と資本業務提携契約を締結いたしました。

SBIグループは、証券・銀行・保険を中心に、インターネットをメインチャネルとした革新的で利便性の高い多くの金融商品・サービスを提供しております。

当行は、SBIグループが有する様々な商品・サービス・ノウハウなどを最大限活用し、お客さまサービスの向上により、競争力・収益力を高め、企業価値の向上を図り、地域経済の活性化を実現させ、福島の復興、地方創生をさらに進めてまいります。



2019年11月11日、資本業務提携の記者会見

SBIグループと連携した取組み

2019年12月 「福島銀行バンキングアプリ」の提供

SBIネオファイナンスサービスズが開発・運営するバンキングアプリにより口座開設(来店不要・印鑑不要、通帳レス)のお申込みが完了し、さらに「一生通帳 by Moneytree」へのアクセスも可能となるなど、手軽で網羅的な家計管理サービスがより身近に利用できるようになりました。



2020年1月 「福島銀行SBIマネープラザ郡山」共同店舗の開設

SBI証券の取り扱う様々な金融商品・サービスをインターネットチャネル商品だけでなく、対面コンサルティング営業による質の高いアドバイスとともに多様な金融商品・サービスをご利用いただけるようになりました。



2020年1月 クラウド型ワークフローシステム「承認Time」「経費Bank II」の提供

地域企業のIT活用による業務効率化や生産性向上のため、低コストかつ短期間で手軽に導入可能なクラウド型ワークフローシステム「承認Time」「経費Bank II」を活用したバックオフィス業務支援を推進いたします。



「申請」から「承認」「保管」まで意思決定をスピードアップ



SBIグループと連携した取組み

2020年3月 SBIレミットとの「海外送金サービス」の提供

地域企業は、労働者不足を補うためアジア諸国などから技能実習生を中心とした外国人労働者を抱えております。その外国人労働者の方々の母国送金サービスをサポートいたします。



SBI Remit

2020年3月 SBI証券との「リアルタイム入金サービス」の提供

SBI証券WEBサイトから当行個人用普通預金口座を登録することで、即時に手数料無料で証券総合口座に資金の振り替えが可能となるものです。お客さまはスムーズでより便利な証券取引がご利用いただけます。

SBI 証券

2020年3月 SBI生命と「住宅ローン団信」に関する基本合意の締結

当行の住宅ローン向けにSBI生命が提供する団体信用生命保険を導入することで基本合意いたしました(2020年秋からの導入を予定)。

SBI 生命

2020年3月 アスタミューゼおよびSBIネオファイナンスサービスとの「理系人材採用支援サービス」の提供

地域企業が必要とする技術職・研究職等の「理系人材」の雇用促進を図るため、アスタミューゼの人材マッチングサービス『SCOPE』を活用し、専門技術人材の採用を支援いたします。

asta muse
company

SBI NEO FINANCIAL SERVICES

2020年5月 SBI損保の「自動車保険」の提供

当行ホームページで、お見積りからお申込手続までインターネットで完結可能な「SBI損保の自動車保険」をご提供できるようになり、利便性が向上いたしました。

SBI 損保

2020年7月 住信SBIネット銀行の『ミスター住宅ローンREAL』および『フラット35』の提供

住信SBIネット銀行の住宅ローンの取扱を開始し、各種お手続きにインターネットを活用でき、お客さまの利便性向上を実現させた商品です。

住信SBIネット銀行

2020年7月 SBI損保の「火災保険」の提供

住信SBIネット銀行の住宅ローンご契約者向けに「SBI損保の火災保険」の取扱を開始するとともに、当行の各種住宅ローンをご利用のお客さま向けにも提供してまいります。

SBI 損保

2020年7月 SBIスマイルの不動産リースバック「ずっと住まいる」の提供

高齢社会が進むなか老後資金のニーズが高まっており、SBIスマイルの不動産リースバック「ずっと住まいる」は、お客さまが所有されているご自宅をSBIスマイルが買取り、お客さまは売買代金を一括してお受け取りになったうえで、賃借人として引き続きご自宅に住み続けられるサービスです。

SBI Smile

社会貢献への取組み

公益信託福島銀行 ふるさと自然環境基金(1992年度～)

自然環境保護を図り、自然と人間の調和の取れた社会づくりを目的に、28回目の助成金を贈呈しました。

これまでの助成先は72先、助成額は累計で1,682万円に達しました。

猪苗代湖の自然を守る会
水生植物ヒシ除去作業



ふくぎん みんなのサポート市民活動助成金(2012年度～)

当行の90周年記念事業として創設し、高齢者を守る活動や子どもの教育を支える活動など、未来づくりに自発的に取り組む活動を支援・促進し、あたたかい地域社会の実現を目指しております。

今回で8回目、これまでの助成先は33先、助成額は累計で330万円になりました。

NPO法人クラブまちてらす
家庭訪問型子育て支援



障がい者施設製品大展示即売会

本店地下大ホールと12階展望ラウンジを提供し、障がい者施設の展示即売会の開催を支援しております。

第8回目は2019年12月に3日間開催し、心を込めて作った製品を展示販売いたしました。

4,000名を超えるお客さまにお越しいただき、売上金は約500万円と過去最高となり、障がいをお持ちの方々の自立をサポートしました。



集団献血

本部において、永年、集団献血を実施しております。2013年以降は年3回の実施を継続し、2019年度は延べ87名が献血いたしました。



行員ボランティア活動

地域社会の一員として、地域イベントのお手伝いや清掃活動等に幅広く参加し、地域に根差した貢献を行っており、2019年度の参加人数は延べ933人となりました。



勿来地区農業体験ボランティア

猪苗代湖舟津浜清掃



地域文化事業への協賛(福島銀行オールドストーリーズ)

2013年度より(株)テレビユー福島様の地域文化事業に協賛し、語り部が福島の民話を地元の言葉で語る「福島銀行オールドストーリーズ」を県内4か所で開催いたしました。

「福島の昔話や方言」を次の世代に伝えるために、その模様をDVDに収め、福島県教育委員会を通じて、県内の全小学校に寄贈いたしました。



カレンダーフォトコンテストの開催

2019年7月に初の試みとして、「ふくぎん2020年カレンダーフォトコンテスト」を開催いたしました。

作品テーマを「私が伝えたい“福島の風景”」として募集したところ、295作品の応募があり、最優秀賞の作品を2020年カレンダーに採用させていただきました。



○最優秀賞

タイトル「朝陽に照らされて」 撮影地／喜多方市三ノ倉スキー場 天野 伸 様

本店ビルのイルミネーション

地域活性化を目的に本店ビル《13号線側》で、イルミネーションを実施(2019年12月～2020年1月)し、師走から年始にかけ街中に明るさを灯しました。



